

校長室通信



令和4年6月6日
羽咋市立羽咋中学校
校長 宮下 裕樹
第3号

修学旅行に行ってきました！

5月10日・11日に修学旅行を実施しました。昨年同様のチャーターフライト体験に、今年は黒部川でのラフティング体験を加えた1泊2日の旅行となりました。コロナ禍の中、羽咋市や保護者の皆様、関係者の方々にお力添えをいただくことで実施できたと心から感謝しております。本当にありがとうございました。

〔行程〕

- ① 羽咋中出発 → 海王丸パーク → ますのすしミュージアム（昼食） → ラフティング体験 → 砺波市内のホテル（夕食）
- ② 朝食 → 「空育」（CAによる講義） → 昼食 → ホテル発 → 小松空港着 → チャーターフライト体験 → 小松空港発 → 羽咋中着

1日目は、さわやかな五月晴れの空のもと、ラフティング体験を行いました。ウェットスーツに着替え、パドルを持ってボートに乗り込んだ生徒たちは、1時間半の川下りを思う存分満喫していました。2日目の午前中は、フライトに先駆け、キャリア教育の視点で学習を深める研修を行いました。「空育」と題して、CA(客室乗務員)さんから、仕事の内容、人と接する上で大切なことなどの講義を受けました。午後からの約1時間半のフライトは、富士山を眼下に見た後、羽咋市上空を高度1200mにまで下げて旋回するというコースで、故郷の地「羽咋」や普段では見ることができない壮大な自然を上空から見るといふ最高の体験となりました。また、旋回中、下級生と教職員が学校のグラウンドに出て、チャーター機に手を振ってくれたとのことでした。

生徒たちは、新緑の季節の自然を肌で感じるとともに、自ら考え、判断し、仲間と協力するという学校外での活動、体験を通して、一生の思い出をつくることができました。また、お世話していただいた方々との関わりの中で、「働くとはどういうことか」を考える貴重な機会となったものと思います。



羽咋新聞の画像集



全能登大会が始まります！

過ごしやすい気温、さわやかな風を感じる季節となりました。その中で放課後の部活動も一層熱を帯びてきました。現在6月12日（日）から始まる全能登大会に向けて、どのチームも一丸となって練習に励んでいます。特に3年生にとっては、県大会出場を懸けて挑む大会であると共に、運動部にとっての集大成となります。目標は高いほどいいと言います。北信越大会、全国大会など上位の大会を目指して力を出し切り、悔いのない試合をしてほしいと思います。北陸地方の梅雨入りは、例年6月11日頃となっています。特に屋外の競技は、雨の中の試合も想定されます。万全の準備で臨んでください。コロナ禍にあるため、観客が制限された中での開催となることも予想されますが、保護者の皆様には、改めて生徒たちが全力でプレーできるよう家庭でも支え、励ましていただきたいと思います。



＜大会開催予定日＞

日	曜日	野球	ソフト テニス (男)	ソフト テニス (女)	バスケット ボール (男)	バスケット ボール (女)	バレー ボール (男)	バレー ボール (女)	卓球 (男)	卓球 (女)	柔道	剣道	弓道	水泳	体操
12	日				○	○									○
18	土	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
19	日	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	

※会場、試合時間等の詳細については、決定次第お知らせしますので、ご確認ください。



2つの柱

5月30日、全校集会を行い、本校の2本柱を生徒たちとその意義、ねらいを共有しました。この2つ柱のもと学校生活を送ってきた2・3年生。今年度入学してきた1年生を交えて改めて確認をしました。

・羽咋中での全ての活動は、君たちの豊かな将来の生活や仕事につながる

10、20年後の将来は、予測困難な社会が待ち受けています。今ある仕事が人工知能(AI)やロボットにとって替わられる社会が訪れます。そのような社会をたくましく生き抜いていくために、何事にも主体的に関わり、感性を豊かに働かせ、未来をどのように創っていくのかを自ら考え、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることの自覚が必要です。

・時を守り、場を淨め、礼を正す

時間や締切を守る・掃除や整理整頓をする・挨拶や返事をする。毎日のよき習慣の積み重ねは、人を成長させます。当たり前が、何の苦も無く普通にできる生徒は、自然と人としてのレベルが高くなります。誰にでもできる凡事(平凡なこと)を誰にもできないくらいに徹底してやり遂げるという意味の「凡事徹底」。これからも実践し続けていきます。

編集後記

随分日が長くなってきたことを実感します。6日現在の日の出の時刻が4時35分、日の入りが19時20分となっています。昼間の長さは、実に15時間近くになっています▼以前に受験間近のある生徒に「勉強していますか？」と尋ねたところ、「はい。寝る前までに3時間。朝、起きて1時間程度やっています」との返答▼今ではスポーツ選手にとっては当たり前のルーティーン。最高のパフォーマンスを引き出すためにルーティーンは有効であることは説明の必要はありません。有名な所で言うイチロー選手の打席の動きがそうですね▼しっかりと睡眠をとり、限られた朝の時間帯を自ら設定して取り組む「朝のルーティーン」。生徒の皆さんもやってみてはどうでしょう!?(宮下)